

# 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る検証報告(2022年1月)①

- 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送については、昨年度の検証を踏まえた対策を講じつつ、実施した対策が想定どおり機能したか、住民や作業員等の安全が確保されたか、円滑に作業を実施できたか等を確認しながら実施している。
- 今回の検証では、2022年度以降の輸送に向けた輸送実施計画の更新に先立ち、昨年度の検証報告以降の輸送において取り組んだ対策等について輸送の基本原則に沿って検証を行い、有識者等のご意見もいただいた上で報告を取りまとめた。

## 検証結果の総括

- 輸送の基本原則である①「安全かつ確実に輸送を実施すること」、②「短期間かつ円滑に輸送を実施すること」、③「国民及び関係機関の理解と協力の下、輸送を実施すること」の3つの観点で検証を行った。
  - ① 輸送車両はこれまでの輸送に比べて減少しているものの、法令や運転マナー遵守、逸水防止対策を徹底し、引き続き安全第一として安全確保に向けた対策を行っていくことが重要。
  - ② 輸送による中間貯蔵施設区域内での車両滞留等の影響を緩和することを目的として車両待機場や一時保管場等が活用されており、この取組を継続していくことが重要。
  - ③ 輸送による放射線影響、生活環境への影響を確認し、周辺に大きな影響が無いことが確認され、これらの監視を継続していくことが重要。
- 今回の検証を踏まえ、安全性を最優先とし適切な対策を継続的に講じながら輸送を行っていく。

# 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る検証報告(2022年1月)②

## 今後も継続が必要な主な対策

### 基本原則

#### ①安全かつ確実に輸送を実施すること

- 整備された道路等を活用した輸送を行いつつ、一般車両への影響を緩和するため、交通状況を確認していく。
- これまでに発生した事故の教訓を踏まえて、運転者の教育・研修や運転者の適切な管理等を実施していく。
- 運転者の交通安全意識の向上に向けて、優良運転者表彰等の奨励に係る取組を実施していく。
- 作業員の被ばく線量の情報を収集・分析し、適切に管理されていることを確認していく。
- 今回発生した漏水事案を踏まえて、逸水防止対策を徹底していく。

#### ②短期間かつ円滑に輸送を実施すること

- 輸送時間短縮や安全性の向上のため、適切な輸送ルートを設定していく。
- 一時保管場等の活用により、中間貯蔵施設区域内における滞留時間の短縮化を図っていく。

#### ③国民及び関係機関の理解と協力の下、輸送を実施すること

- 汚染検査(スクリーニング)を行い、周辺への汚染拡大防止対策を講じていく。
- 輸送車両の通過による生活環境への影響を監視するため、放射線量率や騒音、振動、大気質の測定を実施し、輸送による環境への影響の低減に努めていく。
- 輸送車両の通行により損傷した道路について、一般車等の通行に支障が無いよう道路補修を実施していく。
- 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送へのご理解とご協力を頂けるよう、さまざまな媒体を活用した情報発信を行い、事業への理解醸成を図っていく。